

科目名称	微生物学	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	西山 政孝	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

微生物の知識と感染症などの健康障害を起こす病原微生物について理解し、感染予防および対処方法について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を学ぶ。
2. 感染症を引き起こす病原微生物について理解する。
3. 感染の成立・経過・防御について理解する。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	細菌、ウイルスの構造、真菌の種類と特徴(相違点) 微生物学の歩み 細菌の代謝・遺伝・常在細菌の分布	講義
2	ウイルスの性質(基本構造、増殖、分類) 真菌の性質(細菌との相違点、構造、増殖)	講義
3	感染の成立から発症後の経過	講義
4	感染に対する生体防御機構	講義
5	感染に対する生体防御機構	講義
6	感染に対する生体防御機構	講義
7	滅菌と消毒	講義
8	感染症の治療 2 感染症の現状と対策 1	講義
9	感染症の現状と対策 2	講義
10	病原細菌と細菌感染症 1	講義
11	病原細菌と細菌感染症 2	講義
12	病原細菌と細菌感染症 3	講義
13	真菌感染症 寄生虫総論	講義
14	病原ウイルス感染症	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

授業態度 筆記試験を基に総合的に評価する。

【6】 教科書

吉田真一:系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学(第14版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

戸田新細菌学:南山堂

ヒトがいまあるのはウイルスのおかげ! さくら舎

【8】 受講生へのメッセージ

第1部微生物学の基礎は駆け足で進みますが、後の各論で詳しく説明しますので、安心して学習してください。重要な

ポイントは設問形式の復習でおさえます。復習を大切に、社会に出た際に役立つよう、自分のための分かりやすいノートを作成すると良いですね。